

3, 11祈りの汽笛へのご協力お願い

～東日本大震災犠牲者の霊を追悼し、災害の記憶を語り継ぐ～

趣旨

海は私たちに大きな恵みと楽しみを与えてくれます。その一方、ときには大きな危害を加える元ともなります。私たちは10年前の3月11日に海の恐ろしさを悲しい形で思い知らされました。

私たちの住む神奈川県も長い海岸線を持っています。関東大震災では家屋倒壊や火災とともに津波によっても大きな被害を受けました。しかし災害の記憶を確かな形で伝えてゆく難しさは、東北の方々の避難行動の中にも見えています。だからこそ私たち防災に携わるものはたゆまずに様々な機会をとらえて伝えていく必要があると考え、阪神淡路大震災以降の地域防災活動の大きな課題として活動してきました。

しかし残念ながら10年前に東北三県をはじめ北海道から高知まで死者や負傷者を出した大災害の記憶は薄れています。それは私たちの足元で同じような災害が起きたときに、再び大きな被害が起きることに直結します。そのような悲劇を繰り返さないために、次のような目的を持った追悼の催しを行いたいと思います。

目的

- 1 東日本大震災で亡くなられた方や、まだ行方不明の方、そのご家族へ思いを馳せ、亡くなられた方へ追悼の気持ちを届ける。
- 2 再び東日本大震災や阪神淡路大震災のような被害を出さないよう、家庭や地域での防災を確かなものにする。
- 3 海や海辺で働く人々、海辺で憩う人々の津波への備えを確かなものにする

方法

- 1 港に停泊する船に、2021年3月11日14時46分に汽笛を吹鳴していただく。
- 2 汽笛の意味を事前にマスコミや実行委員会参加の各団体のネットを通じて周知しておく。
- 3 港周辺の施設には館内放送等を通じて趣旨を利用者の方々に伝えて頂く

横浜災害ボランティアネットワーク会議

「3・11祈りの汽笛」実行委員会

事務局：(福) 横浜市社会福祉協議会

TEL：045-201-8620

3・11祈りの汽笛

届 け 被 災 地 へ

一緒に「祈り」を届けてください

2021年3月11日（木）

14時46分

氷川丸、帆船日本丸、ロイヤルウイング、
マリンシャトルの汽笛が鳴ります。

この時間に黙祷をお願いします。

主催 横浜災害ボランティアネットワーク会議「3・11祈りの汽笛実行委員会」

後援 NPO 神奈川災害ボランティアネットワーク ・ 神奈川災害救援ボランティア推進委員会 ・ 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークかながわ ・ ざま災害ボランティアネットワーク ・ ソクラテスプロジェクト ・ 被災地の子供を支援するかながわ市民の会 ・ (一財) 防災教育推進協議会 ・ かながわ発ボラバス応援隊 ・ とうきょう発ボラバス応援隊 ・ 横浜 YMCA

協力 氷川丸 ・ 帆船日本丸 ・ マリンシャトル ・ ロイヤルウイング
GUNDAM FACTORY YOKOHAMA

神奈川県民の皆様へ

～3月11日を忘れまい～ 県内防災ボランティアからの訴え

2021年3月11日、東日本大震災から10年を迎えます。神奈川県からも多くの方が支援活動に駆け付けました。しかし現地では今なお復興半ばです。また福島県では原発事故が被害を拡大させ、帰還困難地区の解消が見通せない状況です。

2万を超える御霊への祈りと今なお避難生活を強いられている皆様へのお見舞いと、そして支援活動の中で学んだ災害への備えや復興への道筋等、多くのことを身をもって経験しました。

この貴重な教訓を語りつなぐ事こそ、減災活動の第一歩ではないでしょうか？

まもなく100年を迎える関東大震災、その被害の瓦礫の眠る山下公園から祈りをささげる因縁も、防ぐことのできない自然災害に、被害を最小限に抑える備え”減災活動”の出発点となることを願っています。多くの皆様のご賛同を切にお願い申し上げます。

現在3月11日を「防災教育と災害伝承の日」とするよう提唱されています。今後もこの日を、防災を考える日にしたいとの思いです。

そして日ごろから防災にかかわる私達から県民の皆様へのお願いです。

- 1 2021年3月11日14時46分横浜港で氷川丸、帆船日本丸、マリンシャトルが鳴らす汽笛に合わせて黙祷し、東北へ思いを馳せてください。
- 2 愛する大事な人を死なせない、傷つけない備えを進めてください。何よりも「生き残らなければ何も始まらない」ということを念頭に置いて、家屋の耐震強化、屋内の安全確保（家具の固定・ガラスの飛散防止など）、そして、緊急地震速報に対して的確に身を守る行動（シェイクアウト行動）を確実に行えるようにしましょう。何を備えても、生きていなければすべてが無駄になることを自覚してください。

2021年3月11日
横浜災害ボランティアネットワーク会議
「3・11祈りの汽笛実行委員会」